

○絵のふる部屋○

巴里の風呂屋

高田武彦

地下鉄の ~~サンポール~~ 駅を降りて北へ二百米

ミエセ・キヤルナバレはフランス革命の博物館

となつてゐる。元はセガイニエ ~~夫人~~ 夫人の邸であ

つたとゆう、黒々とした石造りの冷やかな建

物は ~~王朝の華麗な~~ ^{王朝の華麗な} を伝える、とゆうより暗黒

●血の時代を思わせる。陳列されたもののう

ち、ギロチンの模型よりも、マリー・アントア

ネットの指環のほうが無意味であつた。

午後三時、~~そ~~こに出た僕は雲行きの怪しい

空を仰いだ。白っぽい、しかし汚れた妙な建物が

路沿の奥にあつた。僕はカナうと向けた、建物の

の中に二三人の若い女が午扱きするのが見え

た、中に入って風呂屋であることかゆかつた。

バン ^(入浴) ~~ニ~~ 二百フラン、ドゥーシェ ^(シャワー)

百法 ~~。~~ 僕はいつもシャワーを浴びるのゆか

博物館のなかで冷えてゐたのでバンを ^(選)

くた。

湯槽に長く身任を浸したう、窓外 ~~か~~ ドゥーシェ降り